

令和3年度愛知県健康づくり推進協議会議事要約

【日 時】令和3年9月2日（木）から令和3年9月16日（木）まで（書面開催）

【委 員】20名

【内 容】

1 報告事項

- (1) 健康づくりに係る3計画の令和2年度の主な取組について
 - ア「健康日本21 あいち新計画」の推進について
 - イ「第3期愛知県がん対策推進計画」の推進について
 - ウ「愛知県歯科口腔保健基本計画」の推進について
- (2) 令和2年度における各専門部会の開催状況等について
- (3) 愛知県循環器病対策推進計画の策定について

2 議 題

- (1) 健康づくりに係る3計画の令和3年度の事業計画について
 - ア「健康日本21 あいち新計画」の推進について
 - イ「第3期愛知県がん対策推進計画」の推進について
 - ウ「愛知県歯科口腔保健基本計画」の推進について
- (2) 「健康日本21 あいち新計画」の計画期間の延長等について

<主な意見>

- (1) 令和3年度の事業計画について
 - 健康情報ポータルサイト「あいち健康ナビ」の活用をより増すために、外部リンクを増す必要がある。
 - 健康日本21 あいち新計画の基本方針（Ⅱ）疾病の発症予防と重症化予防について、多くの市町村が国民健康保険事業として慢性腎臓病及び糖尿病の重症化予防に取り組んでいることから、地域医師会と市町村の連携への支援や歯周病への医科歯科連携の一層の推進等を検討して頂きたい。
また、基本方針（Ⅲ）2たばこ対策推進事業について、今回の新型コロナウイルス感染症対策における呼吸器機能の確保の観点から COPD 対策の好機として一層の周知に努めるとともに、近年普及しつつある非燃焼・加熱式タバコや電子タバコについて、正しい理解の普及に取り組んでいただきたい。
 - がん種によっては、愛知県のがん生存率は、全国と比較して高くないものもあるため、がん診療連携拠点病院等の診療機能の向上を図る取組が必要である。このことについて、都道府県がん診療連携拠点病院である愛知県がんセンターを中心に愛知県がん診療連携協議会において診療実績の解析が開始されたことは、一歩前進と考えている。県は、県内のがん診療連携拠点病院等における診療機能の向上のために、診療成績の公表について検討してほしい。

また、将来的には、がん診療連携拠点病院の国への推薦に関して、国指針の要件のほか、さらに参考にできるデータがあれば加味していくことが望ましいと考える。

- がんが治るあるいは QOL を保った共生が望める疾患になった今の時代において、がん患者やその家族に対する相談支援はますます重要である。そのため、がん診療連携拠点病院における相談支援体制やピアサポートの充実の強化など、更なるがん患者やその家族に対する相談支援の強化が望まれる。
- がん教育については、がん診療連携拠点病院の協力の下に行う体制が確立されたことは高く評価したい。一方で、その他の取組みにおけるものも含めて、新型コロナウイルスへの感染拡大状況に起因した講演会等の中止が多いが、学校等を含めた対象者の側もウィズコロナの中で多少なりとも経験を積んでいると考えられる。今後は中止とするばかりでなく、アフターコロナも見据えてオンラインでの開催等について、積極的に検討されることを期待したい。
- 新型コロナウイルス感染症拡大下にて実施出来ない指標について（例えば給食後の歯みがきを実施している施設割合を増加させる等）は、代替の指標を考案すべき。若い世代で働いている世代への歯科検診の充実を図る事業立案が望まれる。骨太の方針にある生涯を通じた歯科検診の充実を図るためにぜひお願いしたい。
- 新型コロナウイルス感染症にかかる内容が記載されていないが、健康づくりの推進という面からははずせない内容ではないか。新しい生活様式への対応ということも含めて、事業計画に記載してはどうか。
- 感染対策をとりながら、できるだけ事業が実施されることが望まれる。

(2) 「健康日本21 あいち新計画」の計画期間の延長等について

- 新型コロナ感染症による運動不足、肥満、精神的ストレスに対する啓発事業が組み込めるとよい。
- 延長でよい。

(その他、意見等)

- 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の長期にわたる蔓延により、特に、健康づくりにおける「運動」実践の低下、貧困による食生活の悪化等の生活習慣病への影響や、特定健康診査やがん検診の受診率低下による疾病の早期発見率の減少等、健康寿命に関わる多くの悪影響が憂慮される。健康日本21 あいち新計画を始めとした多くの健康関連計画において、各種事業における早期のコロナまん延前への回復とさらなる拡充を期待する。
- コロナ下の状況で、各種啓発活動に制限があると思うが、コロナ感染症のリスクを下げるという視点での各項目の取組も県民の興味を持っていただくことに繋がるのではないかと。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、研修会等の開催が難しく、また、

外出抑制により受診がされないなど健康づくりにいろいろな工夫が必要と考える。目標が達成されるよう協力していきたい。

- 県の施策が効果的な取組となるよう支援していきたい。
- 健康日本21 あいち新計画の口腔保健の目標のうち、歯周病に関する指標は改善がみられないが、目標策定時以降に評価方法が変わったこともあるので、目標値を見直しても良いのではないか。
- 社会で支える健康づくりは非常に重要な **Key Word** と考える。地域における歯科医療職種の講演会などの具体的な事業立案が望まれる。
- 障害者歯科医療に携わる歯科医師の増加のための事業は、実施していただいたが、通所事業所に対する検診を補助していただくことで、障がいのある方の歯科医院への通院を促すことができると考える。それにより養成した障害者歯科医療を行う意志のある歯科医師の活躍の場が多くなり、結果、障がい者の口腔内の情報も得られ、状態も改善すると思われる。